

NEW PHASE

ニューフェイズ

～いつも気持ちを新たに、新しい風にのせて～

2022.7 No. 42

contents

2022年度定時総会	1
総会記念講演会「性の多様性」	2
パリテカフェ・翼塾(続編)	3
ヤングケアラーってなんだろう	4
地域翼の会	4
賛助会員コーナー	5
2022年度事業計画	6

2022年度定時総会

とき:5月21日(土)10時～15時 場所:パシフィックホテル沖縄

第一部「開会式」は、奥村啓子会長の挨拶に始まり、第38期入団式では、嘉手苧弘美団長が決意表明を行いました。

来賓挨拶は、沖縄県子ども生活福祉部女性力・平和推進課長 島津典子氏及び(公財)おきなわ女性財団理事長 大城貴代子氏から激励のお言葉をいただきました。

本年度から表彰規程を設け、2団体5名の皆様に感謝状を贈呈しました。

「法人の事業運営に対する貢献」として(株)大川 代表取締役社長 外間幸一氏です。

「法人の事業への多額の浄財の寄付」として 金秀グループ会長 具屋守将氏 岩田美恵子氏 新城恵子氏 當山君子氏 普天間初子氏 新垣幸子氏です。受賞者を代表しまして(株)大川 専務取締役の外間いち子様からご挨拶をいただきました。

続いて、2022年度定時総会の決議に入りました。

第1号議案:2021年度事業報告

法人設立時に設定した5カ年ビジョンに沿い、また「おきなわSDGs普及パートナーズ」の一員として各事業に取り組んだことを崎原末子副会長が説明しました。

第2号議案:2021年度決算を玉城

智津子理事が説明し、大城律子監事が監査報告をしました。決算科目につい

て質疑がありました。反対はなく、賛成が委任状を含め出席者の過半数を上回り原案どおり可決されました。

第3号議案:定款変更について 仲里マサ子理事から説明がありました。

変更の内容は、海外セミナーの事業名称変更に伴う事項2点、正会員の定義の変更及び団体正会員の削除、議事録署名名人に関する事項でした。特に質問はなく、反対が1票、賛成が委任状を含め正会員の3/4以上あり、原案どおり可決されました。

次に、報告事項として、2022年度事業計画を垣花悦子副会長が収支予算を玉城智津子理事が報告しました。

第二部は「2022年度定時総会記念講演会」が開催され、その後一般社団法人となつて初の懇親会があり、会員の皆さんが3年ぶりの懇親を深めました。36期の余興「六羽の白鳥」、18期の「かぎやで風」の披露もあり、会場は盛り上がりしました。広報委員会作製のDVD(国際交流事業2022年佐久本嗣男氏の講話及び喜友名諒選手の形の披露等)の放映もあり、また、2021年秋の叙勲受章許田英子氏(6期)と2022年春の叙勲受章當山君子氏(15期)に花束の贈呈がありました。さらにKOZAA翼

発足について宮城柁呂会長からの報告もありました。全プログラムの司会は、与那嶺奈美子さん(35期)でした。



総会の様子



感謝状受賞者



36期の余興

ニューフェイス41号の「パリティカフェ・翼塾2」(続編)

沖縄の基地と経済～脱基地経済と自力経済にむけて～

講師:前泊博盛氏(沖縄国際大学教授)
日時:2月26日(土) 場所:ているるふれあいサロン



前泊博盛氏

ここでは、沖縄の経済問題について論じる。
前泊講師はこれまでの豊富な体験を基に沖縄の経済問題について語った。
まず**沖縄の全国最下位からの脱出が必要**。最低の賃金・所得↓貧困、最低の貯蓄、最低の持ち家率、進学率。子供の高貧困率、高失業率などからの脱出。
沖縄の経済は復帰前までは3Kと言った基地、キビ、公共事業だった。現在はキビの代わりに観光が入り出す。3K依存が強すぎてそこから抜け出せない。50年間で13兆円もの沖縄振興策を用いながら最下位から脱出できないのか。日本政府の沖縄振興策は失敗だったのか?
1995年少女暴行事件があった時、当時の大田県政は「基地返還アクションプログラム」と国際都市形成構想」を掲げた。1995年から2015年までに基地を全面返還させるという計画だ。
この構想に似た話が人気漫画に出

●健康分野では↓メディカル観光
医療ツーリズムの勧め 検診↓治療↓観光

てくるほど日本の社会に一大旋風を巻き起こした。
漫画「ゴルゴ13」(ゴルゴサーティーン)(1996年発行)には「沖縄シンドローム」と題し、沖縄出身の自衛隊員を中枢に送り込み、沖縄独立に向けて蜂起させる。それを仕掛けたのがかつての琉球王であったなどの内容だ。時の政府を、沖縄は本当に独立するのはないかと驚愕させたほどである。その後、橋本政権はアメリカと話し合い20年の間に11の基地を返還するといういわゆる「SACO合意」を取り付けた。基地の存在による事件事故については膨大な数にのぼる。
3Kの脱却から目指す新7K経済(カキケコ経済)とは。
基地経済からの脱却↓基地経済は儲からない。返還させて跡地利用した方が儲かる。破壊した自然を元通りにするための公共事業、辺野古の埋め立て地を、テーマパークに活用。(ジブリの森、ウルトラマン発祥の地には数体のウルトラマンをおく、等身大のガンダム、アンパンマンミュージアムなどの誘致など)。健康、環境、金融、研究、教育、交通、交易分野で沖縄の特性を生かすことである。

●環境分野では米軍による有機フッ素化合物などの撤去。本来美味しくないはずの沖縄の水が安心して飲めるように米軍に働きかける。
●金融においては貯金だけでなく株への投資などの勉強も必要。
●研究では沖縄科学技術大学院大学の活用。
前泊講師は、「夢の力が現実を変える、夢のないところには現実を変えられない」と語り50年後の沖縄に夢を描こうとまとめた。

療↓観光
長命草やウコンなど沖縄に豊富に生育している植物の食品化や製薬の開発。
●環境赤土対策、サンゴの復元
●基地従業員を最大限活用してアメリカのビジネスを活用する。航空整備士の資格を取るなど基地の持っているノウハウを活用する。
●基地内大学を活用し県内留学を可能にし、結果大学進学率を増やす。など可能性はたくさんあると語る。
●交通問題についてはバスを無料にして老若男女誰でも外出を自由にできるようにすること。
●環境分野では米軍による有機フッ素化合物などの撤去。本来美味しくないはずの沖縄の水が安心して飲めるように米軍に働きかける。
●金融においては貯金だけでなく株への投資などの勉強も必要。
●研究では沖縄科学技術大学院大学の活用。
前泊講師は、「夢の力が現実を変える、夢のないところには現実を変えられない」と語り50年後の沖縄に夢を描こうとまとめた。

一般社団法人 沖縄県女性の翼 沖縄復帰50周年記念ボトル一覧

翼の商品化として、沖縄復帰50周年記念ボトルを決定しました。ご注文購入に協力ください。資金調達委員会より

①黒の松藤 30度(720ml)	②もろみ酢黒糖 (720ml)	③黒の松藤 2本セット	④黒の松藤&もろみ酢 各種セット	⑤もろみ酢 2本セット
1,500円(税込)	1,500円(税込)	3,000円(税込)	3,000円(税込)	3,000円(税込)

●送料は1件(1箱)につき以下の通りです。
・県外および県内離島 1,500円
・県内・本島内 600円
●1箱12本まで入ります。セット商品は、3セットまで入ります。
↑セット商品はこちらの箱です

■ご連絡先 TEL.090-4583-3011(当山) ■ご注文先 FAX.098-968-2417(株式会社 松藤)

2022年度定時総会 記念講演会

性の多様性について

講師:新垣 誠氏(沖縄キリスト教学院大学教授)



新垣 誠氏

なぜ性の多様性なのか。それはジェンダーの話とかかわりが深く、様々な多様性を抱えている中で、最近ではレインボーフラッグも目にするのが多くなり身近になってきた。
LGBTは1970年代にアメリカでLesbian+Gayが運動を起して権利を訴え広まった。沖縄県でも「性の多様性」に対する意識の高まり、理解が広がっている。
令和元年度には「沖縄県男女共同参画社会づくりに関する県民意識調査」で初めて「性の多様性」に関する項目を導入した。県民からは「性的少数者を性の多様性として認める必要がある」「または「理解に努めようと思う」」答えが7割を超え、若い世代ほど性の多様性に非常に寛容だということが分かった。今では制服を自由に選べる学校も増えてきた。
私たちがすべてが性の多様性の中に生きているひとりひとりなんだということ。また多様な価値観への寛容性、マインオリティのライフスタイルの尊重。これができていれば戦争は起きない。世界平和の問題であり、「自分らしく」生きられるかどうかである。
男女共同参画の国際交流、国際社会との協調とは何か? それは全ての人がハッピーに暮らせる社会づくりであり、女性の翼の存在意義が大事だと結んだ。



会場の様子

ニューフェイス41号の「パリティカフェ・翼塾1」(続編)

性の多様性 選択的夫婦別姓について

講師:矢野恵美氏(パリティカフェ@共同代表・琉球大学法科大学院教授)
日時:2月19日(土) 14時~16時



矢野恵美氏
でも沖縄県の賛成割合が全国一高

2020年12月、政府の「第5次男女共同参画基本計画策定案」の中から「選択的夫婦別姓」の文言が削除され、当初案から後退した表現となった。このことがきっかけとなり、マスコミをはじめ、様々のところで議論を呼んだ「選択的夫婦別姓について」の講演。
講演内容
現在、日本の夫婦は婚姻によって「どちらかの氏」を使っても構わない。(民法750条)このことはどちらかの「氏」を捨てなければならぬことでもある。
法律上は女性の氏でも、男性の氏でも良いとなっているが、1975年の調査(人口動態統計特殊報告)によると98・8%、2015年には96%の人が女性の氏を捨てている。
「**選択的夫婦別姓**」とは「だれにも強制しないという考え」にたっている。自分の氏を捨てたい人は捨てて良い。自分の氏を捨てたくない人は捨てなくても良い。2020年早稲田大学棚村研究室の47都道府県意識調査では70・6%が選択的夫婦別姓に賛成している。中でも沖縄県の賛成割合が全国一高
姓に賛成している。中でも沖縄県の賛成割合が全国一高
●かつては家単位で国民を把握するため同氏(夫の氏)が多かった。
●1979年の女性差別撤廃条約を契機に別氏に。現在、強制的夫婦同姓の国は日本以外にはない。
●日本は1947年の新憲法の下現行法で氏定められているが、女性性は自分の問題として様々な苦痛を味わってきている。男性は自分がいやなことを女性に押しつけてないでほしいと語りまとめた。
●世界では
●選択的夫婦別姓を望む理由
・自分の名前前に愛着がある。
・前に対するアイデンティティーがありそれを捨てることは自分になくなる。
・名前を変えると、現実的にあまりに手続きが煩雑。(銀行やカード、パスポートなど)
・働いているとあまりに不便。
・通称で足りると言うけれど旧姓が使えない場合もある。
・著しくプライバシーが侵害される。
●日本の考え
家族の絆を保つため。氏の問題は個人の自由ではなく、公的制度的問題である。通称使用で足りるから。
●選択的夫婦別姓を望む理由
・自分の名前前に愛着がある。
・前に対するアイデンティティーがありそれを捨てることは自分になくなる。
・名前を変えると、現実的にあまりに手続きが煩雑。(銀行やカード、パスポートなど)
・働いているとあまりに不便。
・通称で足りると言うけれど旧姓が使えない場合もある。
・著しくプライバシーが侵害される。
●日本の考え
家族の絆を保つため。氏の問題は個人の自由ではなく、公的制度的問題である。通称使用で足りるから。

賛助会員コーナー

一般社団法人 沖縄県経営者協会

女性リーダー部会



砂川久美子氏

一般社団法人沖縄県経営者協会女性リーダー部会は25周年を迎え、新部長に砂川久美子氏（金秀興産株式会社代表取締役社長）が就任されましたので、これからの抱負とまたご自身の女性管理職としての歩みを伺って参りました。

女性リーダー部会は、1996年稲嶺恵一氏が経営者協会会長時代に「企業の女性中堅社員の能力開発と登用促進」を目的に、全国に先駆けて設立されました。

当時は男女雇用機会均等法が施行され、女性の地位向上を目指そうとの関心はありましたが、まだまだ女性の社会的な役割分担も重く、子育てをしながら働くという時代ではありませんでした。

その後、1999年に男女共同参

画基本法の施行、2015年に女性活躍推進法の施行など法整備が進み、女性リーダー部会には様々なワーキンググループができました。

海外・県外研修や勉強会等の活動も活発になり、企業における女性管理職も増えていく中、初代安里カツ子部会長が言われた「頼まれたら断らない事、貴方が出来ると信じて人は頼むのだから」という言葉は、今でも引き継がれているとの事でした。

砂川部会長が在職する金秀グループでは「具屋会長の男女平等に対する意識が高く、早くから『女性活躍推進』に取り組んできました。『管理職の男女比を同じにする』『社内保育所の設置』や『定時退社の推進』を行ったり、女性だけでなく、誰もが働きやすい職場づくりを推進していただきました」と話され、「今まで4人の男の子を育てながら長年勤めてこられたのは、夫をはじめとする夫の両親や職場の理解があったからです」と女性ならではの様々な困難を企業の変革とともに乗り越えられてきたことがうかがえました。

新部長になられ「女性リーダー



左から山口主任、砂川部会長、仲委員長、中島委員

部会は会員企業の社員は誰でも参加でき、異業種の交流の場。自身の抱える問題解決のヒントを見いだし、ロールモデルを実感する事もできます。もっと多くの働く女性達に参加して頂き、一緒に活動して行きたい」と語って参りました。

沖縄県経営者協会が女性の翼の賛助会員に加入していただいたのを契機に女性活躍推進のため、今後とも有意義な交流が深められたらと思います。

担当…会員増強委員会

5 ジェンダー平等推進法

ヤングケアラーってなんだろう

～ジェンダーの視点から若者から大人ケアを見つめる～

講師：玉城直美氏（沖縄NGOセンター代表理事）

日時：6月11日（土） 13時～15時 参加者：63人



玉城直美氏

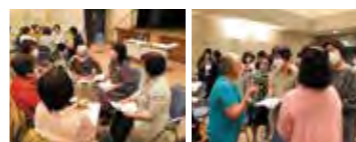
はじめに玉城氏は「今日の講演は講義でなくグループワークを取り入れ、みんなで考える」形式で行いたい。また、ヤングケアラーだけでなく自分（大人）のケアも考え、ここにいる女性が癒やされる会にしたい」と会の進め方を確認しました。「たった3人でメディアを動かして2021年新聞にヤングケアラーの記事が載った。県議会でも取り上げられるようになった」「ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもと位置付けている」と説明して、参加者にケアラーチェックシートを記入させました。「なぜ、ヤングケアラーをみんなで学ぶのか」「ご自身の中にもケアラー、戦後、男性が少なくなったため女性たちはみんなケアラーだった。ご自身でカミングアウトしてほしい」と発しグループワーク①をなげかけました。

「県の調査から自分をヤングケアラーと思っている人は、小学5・6年で1%にも満たない。自分をケアラーとして意識できるか疑問である。県の子どもの貧困は25%である。そのことからケアラーはもっといると思う。子どもたちは、ケアラーを知ってほしいと答えている」

また、イギリスのヤングケアラー



講師の話に耳を傾ける参加者



熱気を帯びたグループワーク

の支援の映像では、校内で子どもたちが近況を振り返る会議、家のケアを忘れ思いっきり遊ぶことやボランティアの大学生が将来を見据えた支援をするヤングケアラーフェスティバルの様子が映しだされました。さらに埼玉県のすべての世代を支援する埼玉県ケアラー宣言が紹介されました。本来その人が持っている力をトレーニングするエンパワメントの説明もありました。続いてヤングケアラー支援ついで翼としてやってみようことこのグループワーク②をしました。振り返りとして、「ケアラーとしての自分へ〇〇からの感謝状」を付箋に書いてペアで互いに心を込めて読み合いました。最後にドイツのメルケル首相のメッセージ「新しい始まりを受け入れる勇氣を持った時に、すべてが可能になる」でまとめました。

地域翼の会 ～繋がろう！広げよう！～
うらそえ「女性の翼の会」

会長：銘苺良子(26期)



右・浦添八景巡り
下・視察研修会

うらそえ「女性の翼の会」は、1995年に発足しました。5年後の1999年会則が制定されました。先輩方のお話では2002年あたりまでは会員も10人足らずで「親睦模合」で会員の交流を図っていたようで、「うらそえ翼」独自の活動はなかったとのことでした。

さて、発足27年目を迎えた今年、会員数は40名になりました。そのうち18名の会員が県翼の役員（理事）、各専門委員、団長、幹事として活躍しています。また、地域や諸団体でもリーダー的存在で頑張っています。新年度は定期総会にはじまり、うらそえ翼独自の活動（特徴）としては、

- ① 会員親睦交流会（忘・新年会、グラウンドゴルフ大会など）
- ② 新会員歓迎会
- ③ 会員の特技や資格を活かした学習会（手工芸、苔玉づくり、浦添八景巡りなど）
- ④ 専門の講師を招いての講演会や学習会
- ⑤ 年3～4回の「広報うらそえ」の発行などがあります。



OH
KAWA

沖縄の暮らしを豊かに。

大川家具グループがはじめた
ひとりひとりが安心して暮らせる
居場所づくりの社会活動報告

沖縄 大川



女性の自立を支援するOK基金 企業・個人の皆さまのご寄付を宜しくお願いいたします。

・沖縄銀行県庁出張所 店番012 普通預金 1303558
一般社団法人 沖縄県女性の翼OK基金 会長 奥村啓子

・琉球銀行県庁出張所 店番251 普通預金 194070
一般社団法人 沖縄県女性の翼 会長 奥村啓子

・みらいファンド沖縄(※税控除あり) 沖縄銀行鳥堀支店 店番141 普通預金 1416881
公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘

賛助会員 募集中!

あなたも、女性の翼を応援する一員になりませんか

・賛助会員は、女性リーダー育成の応援団!

・海外セミナー派遣や各種活動を助成する応援団!



ひとりひとりで増員のご協力を!
個人も団体も可能です。
(年会費 個人3千円/団体1万円)

※賛助会員の方へも講座や研修会の参加案内をいたします

2022年度 事業計画

● 沖縄県女性海外・国内セミナー「女性の翼」第39期事業

①海外セミナー(台湾)〈3泊4日(予定)〉

11月23日(水)~26日(土)

②国内(県内)セミナー 〈2泊3日〉

11月4日(金)~6日(日)

場所:リザンシーパークホテル谷茶ベイ

● 第29回宿泊研修会 〈1泊2日〉

11月5日(土)~6日(日)

場所:リザンシーパークホテル谷茶ベイ

● 法人設立3周年記念事業

2022年12月18日(日)10時~15時

場所:ていするホール

● 企業訪問(パークゴルフ大会同時開催)

南城市 2023年2月(予定)



2022年度 沖縄県女性の翼「研修・講座」

- ◆ 7月30日(土) 「お盆のお迎え」 講師:島明美氏(24期)
13時~15時 場所:ていするふれあいサロン1階
- ◆ 8月14日(日) 「硬いからこそヨガ」 講師:山路千絵氏(38期)
13時~15時 場所:ていするフィットネスルーム
- ◆ 9月10日(土) 「障がい者の自立とは」 講師:伊川幸子氏(9期)
13時~15時 場所:ていするふれあいサロン1階
- ◆ 10月8日(土) (仮)「泡盛と麴の魅力」 講師:崎山淳子氏(18期)
13時~15時 場所:ていするふれあいサロン1階



申込先:(一社)沖縄県女性の翼
〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 沖縄県三重城合同庁舎5階
TEL / 098-917-4677 FAX / 098-917-4688

編集後記

2022年度定時総会、3年ぶりに懇親会の余興の様子もあります。賛助会員コーナーのインタビュー、ニューフェイズ41号のバリテカフェ・翼塾講座1・2の続編を載せました。41号と42号を手に取り一読ください。

【寄付者一覧】2022年4月~5月

寄付一般

- ・ハッピーウイングの会(会員)
- ・中村 よね(1期)
- ・許田 英子(6期)
- ・友利 敏子(13期)
- ・宮平 叶子(1期)

OK基金 寄付

- ・福嶺 博子(31期)
- ・ファミリーサポート きらきら(一般)
- ・岡田ひろ子(19期)
- ・棚原利栄子(23期)
- ・匿名希望(一般)
- ・友利 敏子(13期)
- ・比嘉友子(賛助会員)
- ・基地内教会(一般)

あしたの翼 基金

- ・ボイストレーナーの会(一般)
- ・友利 敏子(13期)
- ・座間味好子(10期) (敬称略)

(一社)沖縄県女性の翼の目的に賛同し、ご支援いただきありがとうございます。心から感謝申し上げます。



一般社団法人 沖縄県女性の翼

＼ 賛助会員続々入会 ＼

沖縄県女性の翼

検索

HP

